

特集

小児科医ができるアドボカシー活動

～こどものこえを社会のこえにするために小児科医ができること～

〔総論〕

小児科医にとってのアドボカシー活動	五十嵐 隆	1545
「こどもまんなか社会」と小児科医のアドボカシー活動	自見はなこ	1551
小児科医へのアドボカシー教育—小児科専攻医のための アドボカシー教育プログラム (CHAT)	余谷暢之	1555
米國小児科学会のアドボカシー活動	伊藤健太	1560
世界のこどもたちのアドボカシー	堀内清華	1565
こどもの健康課題のマッピング	竹原健二	1570

〔個人レベルのアドボカシー—現場でこえをすくい上げ支援につなげる〕

病院小児科医による実践	小川優一	1574
クリニックの小児科医による実践	本田真美 他	1578
多職種による実践		
看護師による実践—重症児デイサービスでのかわり	上野多加子	1582
リハビリテーションでの実践—重症心身障がい児のこえ	須貝京子	1585
医療ソーシャルワーカーとして、こどものこえをすくう・届ける	佐藤 杏	1588
スクールソーシャルワークの実践	沖田昌紀	1592
保健師の実践	中板育美	1595

〔地域レベルのアドボカシー—こどもの課題を地域で取り組む〕

地方公共団体が取り組むアドボカシー	小倉加恵子	1599
パンデミック下でこどものこえを社会に届ける富山の取り組み	種市尋宙	1604
八王子市での取り組み	小沢 浩 他	1608
地域レベルで虐待に取り組む	小橋孝介	1612

〔国レベルのアドボカシー—こどもの課題を国家レベルで取り組む〕

こどものこえを政策につなげる—政策過程への介入戦略	千先園子	1615
傷害予防とアドボカシー	山中龍宏	1622
ワクチン忌避への対応を考えよう	幾瀬 樹	1627
子どもの意見表明権を真に保障するために—セーブ・ザ・チルドレンの実践と こどもの声から考える	高井明子 他	1631

〔メディア, コミュニケーション・アドボカシー〕

社会的起業によるアドボカシー	橋本直也	1636
教えて!ドクター.....	坂本昌彦	1640
ふらいと先生の情報発信	今西洋介	1644
新型コロナウイルス感染症と子どものウェルビーイング ーコロナ×こども本部の取り組み	山口有紗	1647

〔コラム〕

診察室で「こどものこえ」を聴こう	広瀬宏之	1650
はまどりサポートちるどれんの活動ー子育て支援&障がいをもつ こどもと親への支援.....	菅波香織	1651

・症例

先天性白内障と周産期脳梗塞所見より早期診断・フォローアップが 可能であった COL4A1 関連疾患.....	西村円香 他	1653
心臓マーカーが早期鑑別診断に有用であった小児 COVID-19 関連多系統炎症性 症候群 (multisystem inflammatory syndrome in children : MIS-C) の 1 例	秋山実季 他	1659
溶連菌性間擦疹の 3 か月男児例	阪上智俊 他	1665
高 IgG4 血症を伴う原発性硬化性胆管炎/自己免疫性肝炎オーバーラップ症候群 の小児例.....	田村奈悠 他	1671

■書評	1611
■お知らせ	1621
■投稿規定.....	1677
■次号予告.....	1679
■あとがき	1680

『研修医のためのクリニカルクイズ』 投稿原稿募集

好評連載コーナーへの投稿原稿を広く募集いたします。ご希望の方は、まず下記までお問い合わせ下さい。
必要書類をお送りいたします。

東京医学社『小児内科編集部』

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5 E-mail : shonai@tokyo-igakusha.co.jp